

市民の足『路線バス』の 必要性について考える

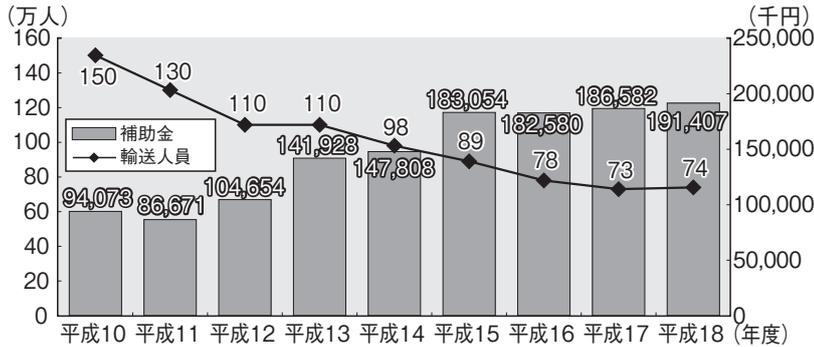
利用者の減少に伴う 路線の減少

市内各地を結ぶ公共交通機関の一つである『路線バス』は、利用者が平成10年の150万人から同18年には74万人までに減少しています。市では、路線バスの運行を維持するために財政支援を行っています。その額は平成10年の9,407万3,000円から同18年には1億9,140万7,000円までに増加しています（下グラフ参照）。

さらに、原油価格の高騰の影響を受け、路線バスを運行する産交バス(株)では、「一町田中央〜新合・西高根〜上平線」を3月31日までで廃止される予定です。天草島内では、1便当たりの平均乗客数が1人以下という路線が多く、今

後も利用者が増えない場合は、さらなる減便や路線の廃止も避けられない状況です。

◆路線バスの利用者数と財政支援補助金額の推移—グラフ



このような中、産交バス(株)では、天草島内全域を自由に利用できる『天草回遊乗車券』や九州全域を自由に利用できる『SUNQパス』などを販売したり、設定された区間であればどこでも乗降できる『フリー乗降制度』を導入したりするなど、利用しやすいバスの運行を目ざしています。

路線バスを 存続させるために

利用者減少の原因の一つに、マイカー(家用自動車)の普及が挙げられます。マイカーがあれば、時間を気にせず出かけられ、重い荷物を運ぶのにも便利です。広い天草では、マイカーはなくてはならないものと感じている人も多いのではないのでしょうか。

利用者の減少や原油価格の高騰などの影響を受け、路線バス「一町田中央〜新合・西高根〜上平線」が3月31日に廃止される予定です。

市民の大切な足として活躍してきた『路線バス』ですが、このまま利用者が減り続けると、さらなる減便・廃止を余儀なくされます。その前に今一度、公共交通機関の必要性について考えてみませんか。

しかし、マイカーの利用については近年、高齢者の運転による交通事故が増加。これは、年齢を重ねるとともに動体視力や瞬発力が低下することが原因といわれています。

天草地域の高齢化率は、平成17年には31%と県平均の24%を大きく上回っており、公共交通機関の必要性は高まっています。

また、自動車を運転できない高齢者や障害者、子ども、学生などにとっては、公共交通機関は生活に欠かせないものです。突然の事故や病気で自動車の運転ができなくなることも考えられます。

だれもがいずれば必要とする公共交通機関。今、その必要性について考えてみませんか。

「路線バス」の利用促進 についてご意見を!

市では、市民や事業者、行政が一体となって利用促進を図るため、「路線バス」に関するご意見を募集します。郵送またはFAX、電子メールで、本庁・地域振興課へご提出ください。利用してみても不便に感じた点など、皆さんのご意見やご要望をお聞かせください。

〔郵送〕〒863-1863 1
(住所記載不要) 天草市
役所・地域振興課

〔FAX〕 ☎ 3501

〔電子メール〕市ホームページ「シ」の「意見箱」コーナーから送信してください。

※詳しいことは、本庁・地域振興課地域振興係 ☎ 111
1 1内線1342へ。